

DWS グローバル公益債券ファンド (毎月分配型)

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)
追加型投信 / 内外 / 債券

投資信託説明書
(交付目論見書)

2010.7.21

A member of
Deutsche Bank Group



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。

当ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧できます。また、本書には投資信託約款の主な内容が含まれておりますが、投資信託約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に掲載されております。

委託会社[ファンドの運用の指図を行う者]
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
・ホームページアドレス <http://www.damj.co.jp/>
・フリーダイヤル 0120-442-785
(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)

受託会社[ファンドの財産の保管及び管理を行う者]
株式会社りそな銀行

本書は金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

本書により行うDWS グローバル公益債券ファンド(毎月分配型)Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を平成22年7月20日に関東財務局長に提出しており、平成22年7月21日にその効力が発生しております。

1. 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
2. 投資信託の財産は、受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
3. 投資信託説明書(請求目論見書)は、投資者から販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、請求を行った場合には、その旨をご自身で記録しておくようにして下さい。

<商品分類及び属性区分>

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	内外	債券	その他資産(投資信託証券(債券))	年12回(毎月)	グローバル(日本を含む)	ファミリーファンド	<Aコース>あり (フルヘッジ) ----- <Bコース>なし

商品分類及び属性区分の内容については、社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご参照下さい。

<委託会社の情報>

委託会社名	ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
設立年月日	1985年7月8日
資本金	3,078百万円(2010年5月末日現在)
運用する投資信託財産の合計純資産総額	549,650百万円(2010年5月末日現在)

1 ファンドの目的・特色

ファンドの目的

当ファンドは、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

(以下は、ファンドが主として投資を行うマザーファンドの特色を含みます。)

1

DWS グローバル公益債券マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券に投資するファンドです。

主に電力・ガス・水道等を供給する世界の公益企業・公社が発行する債券を投資対象とします。

上記に加え、その他の日常生活に密接なサービスを行う企業が発行する債券にも投資します。

投資対象は、取得時において原則 B B B 格相当以上の投資適格債とします。

組入債券の平均格付は、原則として A 格相当以上となることを目指します。

(注1) 格付が公表されていない債券の場合は、発行体の財務内容等を分析して適切と判断した格付を用います。

(注2) 複数の格付機関により異なる格付が付与されている場合は、原則として上位の格付を採用します。

債券への投資にあたっては、金利水準・流動性・信用力等を勘案して選択した銘柄に投資します。

2

毎月決算を行い、収益分配を行います。

毎月20日(当該日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

収益分配方針については、後記「分配方針」をご参照下さい。

3

Aコース（為替ヘッジあり）とBコース（為替ヘッジなし）の2つのコースから選択できます。

（注）販売会社によっては、Aコース、Bコースどちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

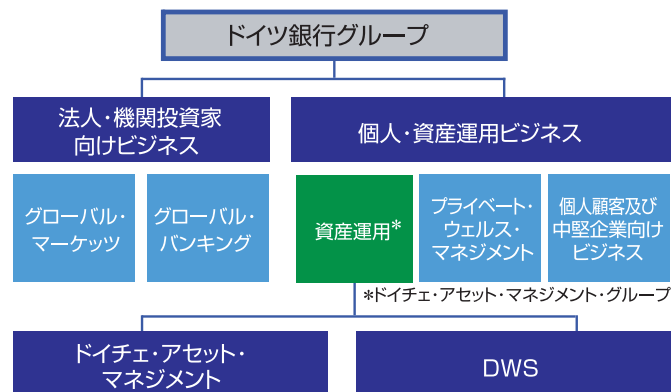
Aコース：実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。（為替ヘッジコストがかかる場合があります。）

Bコース：実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4

Aコースの為替ヘッジに係る運用指図及びマザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSインベストメント GmbHに委託します。

DWSインベストメント GmbHはDWSの一員です。DWSはドイツ・アセット・マネジメント・グループのリテールビジネスを担う投資信託会社グループです。

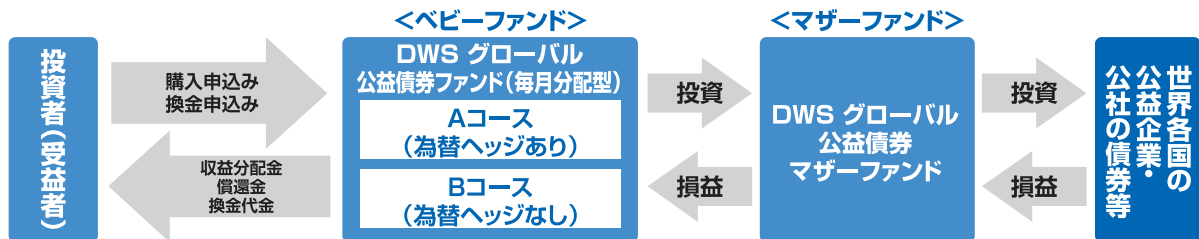


2010年5月末日現在

日本においては、リテールビジネスをドイツ・アセット・マネジメントまたはDWSのブランド名で展開しています。

5 ファミリーファンド方式で運用を行います。

「ファミリーファンド方式」とは、運用及び管理面の合理化・効率化をはかるため、投資者から集めた資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。



市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

<主な投資制限>

株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

<分配方針>

分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

2 投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。

金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

信用リスク

債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト（債務不履行）が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落（価格がゼロとなることもあります。）し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。Aコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、基準価額への影響がすべて排除されるわけではありません。Bコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替変動による影響を直接受けます。

カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関する法制度の変更が行われた場合などには、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

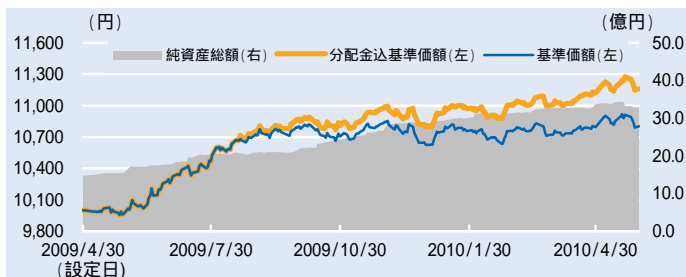
委託会社では2つの検証機能を有しています。1つは運用評価会議で、ここではパフォーマンス分析及び定量的リスク分析が行われます。もう1つはインベストメント・コントロール・コミッティーで、ここでは運用部、業務部、コンプライアンス部から市場リスク、流動性リスク、信用リスク、委託先リスク、運用ガイドライン・法令等遵守状況など様々なリスク管理状況が報告され、検証が行われます。このコミッティーで議論された内容は、取締役会から一部権限を委譲されたエグゼクティブ・コミッティーに報告され、委託会社として必要な対策を指示する体制がとられています。運用部ではこうしたリスク管理の結果も考慮し、次の投資戦略を決定し、日々の運用委託先管理業務を行っております。

3 運用実績

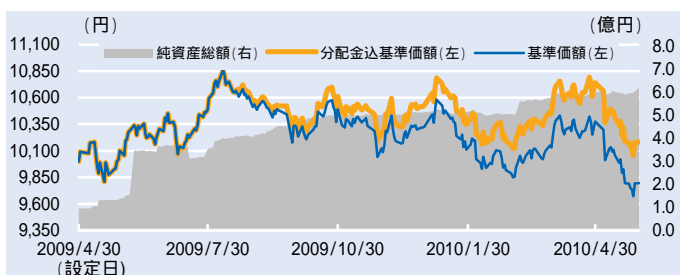
基準日：2010年5月31日

基準価額・純資産の推移

A コース



B コース



分配の推移

A コース

1 万口当たり、税引前	
2010年 5月	35 円
2010年 4月	35 円
2010年 3月	35 円
2010年 2月	35 円
2010年 1月	35 円
直近 1 年間累計	350 円
設定来累計	350 円

B コース

1 万口当たり、税引前	
2010年 5月	40 円
2010年 4月	40 円
2010年 3月	40 円
2010年 2月	40 円
2010年 1月	40 円
直近 1 年間累計	400 円
設定来累計	400 円

- 1 基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。
- 2 分配金込基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。

主要な資産の状況

マザーファンドにおける組入上位10銘柄

	発行体	業種	通貨	償還日	クーポン(%)	格付	比率(%)
1	ミッドアメリカ エナジー ホールディングス	電力	USD	2037/09/15	6.500	BBB+	1.98
2	GDF スエズ	電力	GBP	2021/02/11	6.125	AA-	1.97
3	セントリカ	ガス	GBP	2033/09/19	7.000	A-	1.91
4	イーオン	電力	GBP	2037/10/30	5.875	A	1.87
5	トランス-カナダ パイプライン	ガス	USD	2039/01/15	7.625	A-	1.72
6	CONSEDISON	電力	USD	2018/04/01	5.850	A-	1.62
7	COMMONWEALTH EDISON	電力	USD	2018/03/15	5.800	A-	1.61
8	DONG エナジー	ガス	EUR	2012/06/29	3.500	A-	1.55
9	エネル	電力	USD	2014/10/07	3.875	A	1.47
10	CONSTRUCTION ENERJY GROUP	電力	USD	2032/04/01	7.600	BBB-	1.42

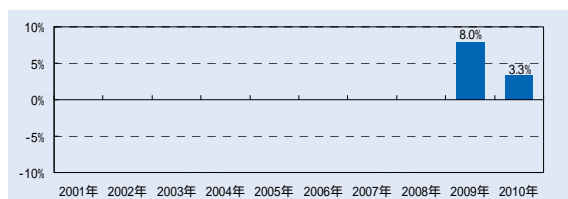
マザーファンドにおける業種別構成比

業種	比率(%)
電力	67.7
ガス	15.0
その他公益企業、公社	11.1

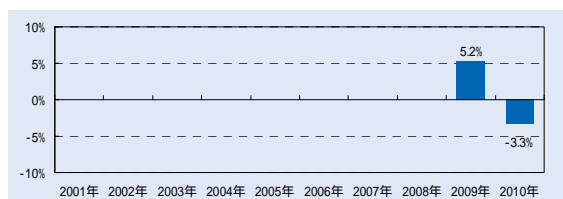
比率はマザーファンドにおける組入比率です。

年間収益率の推移

A コース



B コース



- 1 年間収益率の推移は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。
- 2 2009 年は設定日（4 月 30 日）から年末までの騰落率、2010 年は 5 月末日までの騰落率を表示しております。
- 3 当ファンドにベンチマークはありません。

(注1) 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

(注2) 最新の運用実績は、委託会社のホームページで開示されております。

4 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	原則として、販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	フランクフルト証券取引所の休業日、フランクフルトの銀行休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日、ニューヨークにおける債券市場の取引停止日のいずれかに該当する日とします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時とします。
購入の申込期間	平成22年7月21日から平成23年7月20日まで 申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他合理的な事情があると委託会社が判断した場合は、購入申込み・換金申込みの受付を中止すること及び既に受付けた購入申込み・換金申込みの受付を取消すことができます。
信託期間	設定日（平成21年4月30日）から無期限とします。
繰上償還	各ファンドは、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等に必要な手続き等を経て繰上償還されることがあります。
決算日	原則として毎月20日とします。 当該日が休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年12回の毎決算時に、分配方針に基づいて行います。 販売会社との契約によっては再投資が可能です。
信託金の限度額	各ファンドについて1兆円とします。
公告	委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	6ヵ月毎（毎年4月及び10月の決算日を基準とします。）及び償還時に作成され、販売会社を通じて知れている受益者に対して交付されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用・税金

<ファンドの費用>

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.15% （税抜 3.0%）を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	毎日、信託財産の純資産総額に年率 1.512% （税抜 1.44%）を乗じて得た額とします。 運用管理費用（信託報酬）は、毎決算時または償還時に信託財産中から支払われます。 Aコースの為替ヘッジ及びマザーファンドの運用を行うDWSインベストメントGmbHに対する投資顧問報酬は、委託会社が受ける信託報酬の中から支払われます。 委託会社が受ける信託報酬の一部を、財団法人日本盲導犬協会に寄付します。なお、寄付先・寄付条件等については、委託会社の判断により予告なく変更する場合があります。
【内訳】（委託会社）	0.735%（税抜 0.70%）
（販売会社）	0.735%（税抜 0.70%）
（受託会社）	0.042%（税抜 0.04%）
その他の費用・手数料	純資産総額に対して年率 0.10% を上限として諸費用（監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が信託財産から差し引かれます。また、信託財産における組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等についても、別途信託財産が負担します。 諸費用は、毎年4月及び10月の決算時または償還時に信託財産中から支払われます。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

投資家の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

<税金>

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して 10%
換金（解約）時及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 10%

上記は、平成22年5月末日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

法人の場合は上記とは異なります。

税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。